

## 平成24年の重点施策

重点施策を達成するにあたり、これまで継続してきた事業内容を改めて精査し、その必要性・効果等について、優先順位づけによる厳しい選択を行い、最少の経費で必要な行政サービスが提供できるよう努めるとともに、住民から信頼される消防行政を築いていかなければなりません。消防大学校、消防学校、救急救命士養成所及び愛知県市町村職員研修並びに救急隊員の病院研修等の専門教育を始めとして、火災、救急救助活動のレベルアップを図る訓練を重ね、職員の資質の向上を図ります。

消防防災行政を取り巻く環境は大きく変化しており、特に大規模災害時の迅速な対応が求められています。事故・災害等から住民の生命、身体、財産を守るべき消防の責任は益々増大し、一朝有事の際の即時即応体制を、より充実強固なものにしていかなければなりません。そこで、安全で安心して住める災害に強いまちづくりと信頼される消防を目指し、平成24年は、次の項目を重点的に推進します。

### 1 消防防災体制の充実

- ◎ 消防機関の災害対応力の強化
- ◎ 緊急消防援助隊の充実強化

### 2 救急救命体制の充実

- ◎ 医療機関との連携推進
- ◎ 救急業務の高度化の推進
- ◎ 一般住民による応急手当の実施促進
- ◎ 大規模災害における救急体制の構築

### 3 身近な生活における安心・安全の確保

- ◎ 住宅用火災警報器の設置促進
- ◎ 防火対象物の大規模・複合化を踏まえた防火安全対策の構築
- ◎ 放火対策の強化

### 4 地域における総合的な防災力の強化

- ◎ 消防団、自主防災組織の充実強化
- ◎ 防災人づくりの充実
- ◎ 企業の防災活動の促進

### 5 海部地方消防指令センター整備

### 6 消防救急無線のデジタル化

## 平成23年中の火災概要

平成23年中の組合管内における火災件数は51件でした。前年比で件数は17件と大きな増加でした。

出火原因については、放火・放火の疑い14件、たばこ5件、こんろ4件の順でした。また、火災により2名の死者と3名の負傷者が発生しました。

種別		市村名		
		弥富市	飛島村	合計
出火件数		43	8	51
内訳	建物火災	22	4	26
	車両火災	5	2	7
	船舶火災	0	0	0
	その他の火災	16	2	18
負傷者数		2	1	3
死者数		2	0	2
損害額(千円)		47,292	167,329	214,621

※ 損害額は、調査中の2件を含まない数値です。

## 平成23年中の救急概要

平成23年中の救急出動件数は2,369件でした。前年比で件数は50件の増加でした。平成16年以降は出動件数が毎年2,000件を超え、今後も高齢化の影響を受け、増加が予想されます。

種別については、急病、交通事故、一般負傷、労働災害の順で出動件数が多く、1日当たりになると約6.5件の出動となり、住民の21人に1人が救急車で搬送されたこととなります。

ドクターカーの出動件数は101件でした。

種別 市村別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損	急病	その他	計
	弥富市	27		7	224	101	11	181	9	22	1,082	281
飛島村	7	1		83	80	1	27	2	4	154	7	366
管外	1		2	12			5			19	19	58
計	35	1	9	319	181	12	213	11	26	1,255	307	2,369
本署隊 (内管外)	5	1	1 (1)	148 (5)	72	7	76 (2)	6	7	454 (15)	50 (3)	827 (26)
分署隊 (内管外)	9 (1)		5 (1)	114 (6)	43	1	124 (3)	3	18	740 (3)	162 (16)	1,219 (30)
出張所隊 (内管外)	21		3	57 (1)	66	4	13	2	1	61 (1)	95	323 (2)
ドクターカー			1	21	15		4		4	56		101